

国際交流 留学サポート

International Exchange / Support for Studying Abroad

グローバルな未来への挑戦をバックアップ

様々な海外研修プログラム

福井県立大学にはさまざまな海外研修・留学プログラムがあります。学びに合わせて選べますので、ぜひ挑戦してください。

短期海外研修

海外での生活を体験することで国際人としての第一歩を踏み出してもらうための研修等数日から1ヵ月程度のプログラムがあります。

長期留学

アメリカのフィンドレー大学をはじめ、海外16大学と学術交流協定に基づいた交換留学制度を設置（一部派遣のみ）。長期滞在の中で、外国語を修得しながら自分の専門分野の知識を深めていきます。

海外自主研修等

ゼミでの海外研修やフィールドワーク、国際学会への参加などがあります。また、夏休みや春休みに海外ボランティアや自主研究等に参加する学生への支援制度もあります。計画や手配も自分の力で行うことで、グローバル精神が養えます。

リラックスした空間での多文化交流

World Café 永平寺キャンパス Ocean's X 小浜キャンパス

福井県立大学では、学内に外国人インストラクターとの英会話や多文化交流を楽しめるWorld Café（ワールドカフェ）とOcean's X（オーシャンズ・エックス）を設けています。これらの交流スペースは、留学生による外国語講座や学生同士で留学・旅行の情報共有、各種イベントなどさまざまな交流ができる場として利用され、学生スタッフたちが意欲的に活動に関わっています。



支援制度

チューター制度

日本人学生チューターが外国人留学生の学業および生活をサポートします。留学生と接する中で文化や考え方の違いに触れることができ、サポートする学生自身の学びや異文化への理解にもつながっています。

国際・留学支援課がサポート

国際・留学支援課では本学独自の海外研修留学制度はもちろん、広く海外留学や奨学金などの支援制度に関する情報を提供。海外留学を志す学生や本学で学ぶ留学生に対するサポートを行います。

先輩体験談

短期海外研修

研修先／台中科技大学（台湾）中国語サマープログラム

経済学部 経営学科 とちかわ しゅうた 栃川 周大さん



独学で身につけた語学力を 現地で試してみたい

独学で勉強した自分の中国語がどのくらい通じるのか試してみたいという思いと、日本と台湾の文化の違いに興味があったことから参加を決意しました。現地ではチューターと一緒に観光したり、大学で中国語の講座を受けたりして過ごし、今でも連絡を取り合うような友人もできました。買い物時に店員の言葉が聞き取れないなどリスニングには苦労しましたが、友人たちと臭豆腐を食べてみたことや、マンゴーミルクがおいしくて何杯も飲んだことはいい思い出です。

初めての海外で不安もありましたが、台湾の文化を知ると同時に日本の良さを改めて知る機会にもなりました。高校時代に何気なく始めた中国語がこのような経験に繋がったので、人と違うことでも目標を立てて継続して頑張ってみてください。



長期留学

留学先／フィンドレー大学（アメリカ）交換留学

看護福祉学部 看護学科 ふじた あきえ 藤田 暁絵さん



チャンスは逃さず どんなことも成長の糧に

以前短期研修に参加したフィンドレー大学に、現在約10ヶ月間の長期留学中です。英語での会話はまだ難しく、少しずつ上達しているとは思いますが、リスニングや発音の大切さを痛感しているところです。休日は友人たちと過ごすことが多く、ハロウィーンにみんなでトウモロコシ畑にあるお化け屋敷に行ってお化けをしたのがとても面白かったです。

初めての経験ばかりですが、ためらいが減ってチャンスをものしろうと考えるようになりました。臆せず自分の意見を話すことにも慣れてきたと思います。他国からの留学生も多く、さまざまな知識や経験を持つ人たちとの交流を通して視野も広がりました。そんな新しい出会いが留学の大きな魅力です。興味がある方はぜひ挑戦してみてください。



海外ボランティア

活動先／セブ・孤児院ボランティア（フィリピン）

看護福祉学部 看護学科 まつばら ゆめ 松原 由芽さん



フィリピンの子どもたちと ふれあった1週間

青年海外協力隊の方の講演をきっかけに、夏休みに1週間フィリピンでの孤児院ボランティアに参加しました。治安や病気などへの不安もありましたが、実際は想像よりも安全で、現地の人々は笑顔で迎え入れてくれ、たくさん話しかけてくれました。

現地ではゲストハウスで生活し、山間部、海上スラム、ゴミ山スラム、中国人墓地、マザーテレサ修道院などで子どもたちと遊ぶボランティアをしました。純粋な笑顔で日本から持っていったおもちゃで楽しそうに遊ぶ姿に、用意してよかったと思う反面、貧しい生活を目の当たりにして悲しくなることも。今回のボランティア活動を通して発展途上国での支援に対する興味がさらに深まりました。

